

# 吉岡公民館 お茶の間通信

吉岡公民館 Tel 66-5258

西条市吉岡公民館だより

検索

「西条市吉岡公民館だより」で検索するとカラー版がご覧になれます。

|           |       |
|-----------|-------|
| 1月末現在     | (前月比) |
| 世帯数 991世帯 | (+7)  |
| 男 1,082人  | (+4)  |
| 女 1,166人  | (+5)  |
| 合計 2,248人 | (+9)  |

## 令和6年度 東予西中学校 「少年の日」記念行事



東予西中学校2年生が「少年の日」を迎えました。記念行事では2月3日(月)坊ちゃん劇場で観劇をし、2月4日(火)砥部焼絵付け体験を行いました。大人への第一歩ですね。おめでとうございます！



### 吉岡公民館人権・同和教育訪問



1/31(金)愛媛県人権対策協議会西条支部の皆さんが来館され、吉岡公民館の人権・同和教育の取組について話し合いが行われました。参加いただいた公民館協力委員、東予北保育所長、東予西中学校長の皆さま方、貴重なご意見ありがとうございました。これからの公民館活動に活かしてまいります。

### 男の料理教室



1/28(火)今年度最後の男の料理教室を開催しました。鶏つみれとキノコ鍋、いなり寿司、杏仁豆腐を作りました。いなり寿司はお揚げに詰めるのに苦戦しましたが美味しくできました。

### 吉岡こどもタイム



2/5(水)節分にちなんでおりがみでオニを作りました。

### 昔のあそび



1/27(月)吉岡小学校の1年生が、シニアクラブ、有志の皆さんに竹とんぼ、輪ゴム鉄砲、紙飛行機など懐かしい遊びを教えていただきました。とても楽しく活動できました。

### 人生大学 2回目



1/24(金)1回目に引続き「エンディングノート」についてのお話や、僧侶のお話など「生き活」について学びました。



### 古典講座受講生募集!

- 日 時： 令和7年4月～令和8年3月まで  
毎月おおむね第1土曜日 13:30～15:30  
(初回は4月5日)
- 場 所： 西条市佐伯記念館・郷土資料館
- 内 容： 「百人一首」
- 講 師： 武田 眞 氏
- 定 員： 60人(先着)
- 受講料： 年3000円程度  
その他 テキスト料(実費)
- 受付期間： 2月7日(金)～3月9日(日)
- 申込先・問合せ： 西条市佐伯記念館・郷土資料館  
090-4336-3070(黒川)
- ※後援： 西条市教育委員会

【3月のごみ収集日】※当日8時までにお出してください  
ビン、ペットボトル・・・19日(水)  
古紙の日・・・26日(水)

# 第七回春一番コンサート in 吉岡

吉岡公民館でサークル活動をされている親父バンド、その他のバンドの方々がコンサートを行います。  
素敵な歌声や生演奏を聴きにきませんか??

**3月30日(日) 13時開場**  
**13時15分開演～17時頃まで**

## 出演グループ♪(演奏曲) 司会 大浜省一

- ① 3636 ～空の青さを知る人よ、ハート 他～
- ② サンイチバンド ～東京ブルース、ぐでんぐでん、外は白い雪の夜 他～
- ③ Izu&Ree ～なごり雪、今はもう誰も、関白失脚、虹 他～
- ④ 助さん格さんバンド ～バンドをくもうよ、木蓮、桜、君に捧げるバラード 他～
- ⑤ フラサークル ～Ke Onanna、O ka Maile 他～
- ⑥ ナースログ ～ケンとメリー、マリエ、私を待つ人がいる 他～
- ⑦ 親父バンド ～武田の子守歌、ジェラシー、仰げば尊し 他～

## はるらんまん♪ お花見にでかけよう!

綺麗な桜を見ながら交流を深めましょう。

日時：4月3日(木) 10:30～  
集合場所：吉岡公民館(乗り合わせて行きます。)  
コース：本谷公園  
お弁当代：600円程度(お茶付き) 当日集金  
持参物：タオル・飲み物  
締切日：3月26日(水)  
申込先：吉岡公民館 ☎66-5258  
※準備の都合上必ず申込をお願いします。  
※雨天時は公民館でお弁当を食べながら交流し

## 「吉岡っ子 大活躍!!」

令和7年1月13日(月) 第二回全日本空手道選手権大会(チャンピオンカップ)が大阪で行われ、以下の成績を残されました。

小学3年男子 軽量級  
全国優勝  
岩森 葵郁

小学1年女子  
全国優勝  
岩森 日菜多



差別のない社会を願う

丹原高等学校 3年 大川 真奈

私はこれまでに人権問題に関する授業を受けてきた。そのため、人権問題に関する知識が身に付いていると思っていたが、まだまだ身に付いていなかった。

先日、水平社博物館研修に参加した。そこでは水平社宣言の「人の世に熱あれ、人間に光あれ」という言葉を目にした。この言葉は以前から、意味はよくわからないままに覚えていたが、水平社博物館研修に参加して、「社会で人々の力強い願いが叶うように、そして人間が社会で生き生きできるように」という意味であることを知ることができた。

わが国初の人権宣言といわれる水平社宣言が出されたのは、今から100年前の1922年3月だ。宣言の原文は、被差別部落出身の若者たちが考えたものである。長い歴史の中で不当な差別を受けてきた人々の苦しい思いが記されているだけでなく、全ての人々がどのような差別も受けることなく、人間らしく暮らしていける社会の実現を願う気持ちが込められている。

被差別部落に対する差別意識は、基本的人権の尊重を掲げた日本国憲法の施行後も解消されず、劣悪な生活環境も改善されなかった。その後、行政によって住宅や道路などの物理的な生活環境は大きく改善されたが、差別意識はなくなっていない。2016年に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行され、そのなかで、国は部落差別の存在を認め、「部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現する」と述べている。

水平社宣言から100年後の今は、宣言が目指した、あらゆる差別を許さず、誰もが一人の人間として尊重される社会になっているだろうか。以前は見過ごされていた、様々なハラスメントが社会で問題となり、人権尊重の意識が高まっていることは確かに感じる。しかしその一方で、インターネットやSNS上での誹謗中傷や人種差別、性の在り方に対する偏見など、新たな人権問題が発生していることも事実だ。こうした現状をみると、部落差別に限らず、ある日突然、差別の被害者になる可能性は誰にでもあると考えられる。社会を変えられるのは私たち一人一人だ。水平社宣言から100年後の今、私たちにできることは何だろうか。

現代は、メディアで様々な人権問題が取り上げられるようになり、個人の多様性をより尊重する社会になりつつある。私たちの身の周りには、解決すべき人権問題が多く存在すると考えておかななくてはならない。今は100年前とは違い、多くの方が自由に意見を発信できる時代になっている。こういう時代だからこそ、水平社宣言に込められた当時の人々の思いを考え、人として認め合い尊敬し合うことにより、すべての人が平等に人権を尊重され、住みやすい社会を作っていかななくてはならない。

今回、水平社博物館研修に参加し、部落問題について多くのことを学ぶことができた。まだまだ人権問題について知らないことばかりなので、講演会や研修会などに参加し、積極的に学習し、知識を身に付けていきたいと思う。そして、あらゆる差別をなくし、人間が人間らしく、誰もが幸せに暮らしていける社会を作っていくために、私たちにできることを考え、行動していきたい。

西条市人権教育協議会 西条市人権擁護課



## 祝! おめでとうございます!

東予西中学校PTA だより「ひまわり」が第46回全国小・中学校PTA 広報誌コンクールで、日本教育新聞社長賞を受賞しました。